

看護部ラダー研修

	新人	レベル 1 卒後2年～3年	レベル2	レベル 3
レベルの定義	組織の一員として、チーム内でのメンバーの役割を理解し、助言を受けて行動ができる	標準的な看護計画に基づき求められる、基本的な看護ケアを自立して実施できる	経過を予測しながら、対象者に適した効果的な看護ケアが実施できる	解決困難な課題を有する場合にも、最良の看護ケアを実施できる
看護実践能力	・基本的な看護技術を、助言を受けて、安全に実践できる 看護の提供場面において常に患者の人權を尊重する視点を持つことができる チームメンバーのそれぞれの役割を理解することができる	日常や救急時の看護に必要な標準的な看護技術を、自立して安全かつ迅速に実施できる 看護ケアに用いる物品のコストを把握する。・受け持ち患者のニーズに即した看護過程を展開できる。 チームメンバーのそれぞれの役割を理解した上で、看護実践に必要な情報を交換することができる	個別性を重視した看護を実践し、実践した看護の評価や計画の修正ができる。 今後看護の実践における倫理的問題に気づき、解決に向けた提案ができる。日常や救急時に必要な看護技術を、指導できる チームの中心的役割を果たし、目的に向けてチームをマネジメントすることができる	看護実践の場面で生じている倫理的問題の解決に向けて、計画の立案と実践ができる 多職種を含むチームの目的達成に向けて、状況にお応じて自らの立場を判断しながら、チームをマネジメントすることができる 看護実践に関わる組織的および社会的な課題を把握し、課題解決に向けた計画の立案・実践・評価ができる
自己研究能力	自己の教育的課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる	自己の教育的課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開することができる。	自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や看護学生に対する指導的な役割を実践することができる。	単独で専門領域や高度な看護技術等について、看護研究や学会発表、研修会の参加を通して、自己教育活動を展開することができる。 他者に対する教育において、自立して指導的な役割を実践することができる
組織的役割遂行能力	看護チームのメンバーとしての役割や係活動の補佐的役割を果たせる。	看護チームのリーダーとしての役割や、係および委員会活動における役割を果たすことができる	多職種を含むチームの中で、専門的能力を要する役割を果たし、チーム内での指導的役割を担うことができる。	所属を超え、看護部や病院から求められる役割を遂行できる。 看護単位の課題に対し、具体的な解決を図れる